



同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化（カルチャー）のことにくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回も学芸員のハマノさんを交えて、平成27年度に行なわれた米子城の発掘調査について学びます。

ジローくん：四重櫓改修時の作業場だった**八幡台**の場所が特定されたのもすごいけど、その下に古い石垣が埋もれていたっていうのも驚きだったよね。

ハマノさん：発掘調査を進めていたときに、盛土の下から出てきたんです。石垣は時代によって加工の仕方や積み方が変わるので、それを調べると、造られた年代が大まかにわかるんですね。この石垣は、自然石をあまり加工しないで積み上げる**野面積**という古い時代の積み方だったので、米子城築城当初のものである可能性が高いと考えたんです。

ミナちゃん：土の下に八幡台のもうひとつの歴史が眠っていたのね。

ジローくん：この郭は絵図にも載っていないものだっていうから大発見だよな。

かるちゃん：この場所は、**飯山**と同じくらいの標高になるから、当時は深浦もよく見渡せたはずだね。城の防御の上で重要な場所だったんだろうね。

ハマノさん：そうですね。防御という点で言えば、**水手御門**の下で発見した郭もそうですね。こちらでは、石垣をめぐる上下二段の郭の存在が確認されたんですが、これは、鳥取県立博物館所蔵の「**米子御城明細図**」〔元文4年(1739)〕に描かれている様子と一致するんです。樹木が生い茂っていてわかりにくい状態になっていましたが、今回、**伐開**（樹木を伐採し、道や場所をあけること）し、発掘調査を行なった結果、石垣も確認できたし、郭の形も絵図と整合することがわかったんです。

ミナちゃん：現地で見ると上段、下段とも石垣の根元の部分は残っていたけど、上の方は石がなくなっていたわね。これは、**破城**の可能性があるって…。

ハマノさん：よく覚えてましたね。破城というのは、**城割**とも呼ばれ、戦国時代から江戸時代にかけて行なわれた、城を崩し廃止することをいうんですね。幕府の命令だったり、戦いのために城を使わないという意思表示だったり、さまざまな理由で行なわれたといわれています。

ジローくん：破城だとすれば、修復もされず、建物も建てられず放置されていたというのも理解できるよね。

ミナちゃん：この場所からは中海がよく見渡せたはずだから、まさに中海防御のための郭だったということよね。

かるちゃん：米子城は、現在では市街地側が重要というイメージなんだけど、築城当初は中海側に重きを置いていたことがうかがえるね。こうして、調査結果を一つ一つ検証していくことによって、米子城の実体に迫ることができるんだね。

ハマノさん：今年度も、米子城フォーラムやガイドウォークなどいろいろな米子城イベントを開催しますので、多くの方に参加していただきたいですね。くわしいことは広報よなごやイベントチラシ、米子市ホームページ「もっと知りたい米子城」（文化課）などでお知らせします。皆さん、要チェックですよ！

ジローくん・ミナちゃん：やった～、それは楽しみだ。絶対参加するからね！

次々と明らかになる米子城の秘密。今年度も米子城イベントが面白い。次回もおたのしみに！

(米子市教育委員会 文化課)



八幡台の野面積の石垣



水手御門の下の郭



郭をめぐる石垣